

コラム 1: 海外に支出される米国連邦政府の研究開発予算から見る国際戦略

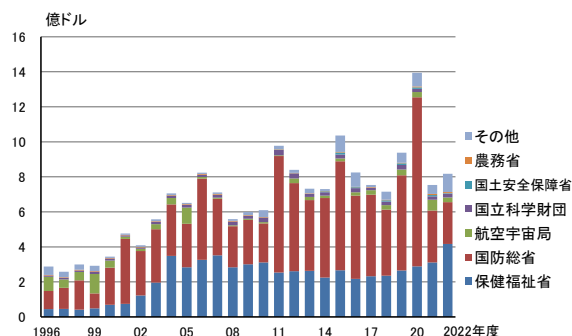
科学技術活動の国際化が進展する中、安全保障・国際経済という観点からの競争・協同と、世界規模課題解決のための多国間協調という、2つの視点のバランスが重要になってくるとの指摘がある¹⁶。本コラムでは、米国の連邦政府の研究開発予算に注目し、どの政府機関による海外への支出が多いか、それらの機関において、どの国・地域への支出が多いかを分析する。これにより、米国が国際協力・支援の観点から、どのような方針を取っているかを見る。

(1) 海外に支出される連邦政府の研究開発予算

コラム図表 1-1 は、米国の連邦政府の研究開発予算のうち、米国外に支出された額の時系列変化を示す。1990年代の後半から2000年代半ばにかけて増加した後は、4～5年おきに生じる大きな変動を除くとおおむね6～8億ドルの間で推移している。

機関別で見ると、2000年代に入ると国防総省(DOD)と保健福祉省(HHS)が1位又は2位であり、この2つの省で全体の80%～90%を占める。これに航空宇宙局(NASA)、国立科学財団(NSF)で続いているが、近年は航空宇宙局が3位であることが多い。

【コラム図表 1-1】 海外に支出される連邦政府の研究開発予算(機関別)



資料:
NSF, “Survey of Federal Funds for Research and Development”を基に、
科学技術・学術政策研究所が集計。
参照: コラム表 1-1

(2) 国別の状況

つぎに、全体と海外に支出される研究開発予算で上位を占める国防総省、保健福祉省の2政府機関について、国別の支出額を見る。

コラム図表 1-2(A)は全体である。上位5か国はイスラエル、カナダ、英国、オーストラリア、南アフリカである。

コラム図表 1-2(B)は国防総省である。上位5か国はイスラエル、ノルウェー、英国、カナダ、オーストラリアであり、イスラエルへの支出が突出している。

コラム図表 1-2(C)は保健福祉省である。上位5か国は南アフリカ、カナダ、フランス、英国、オーストラリアである。上位10か国の中で、3か国がアフリカであり、アフリカへの支出が多い点の特徴である。

【コラム図表 1-2】 海外に支出される連邦政府の研究開発予算(2018～22年度・上位10か国等)

(A) 全体

国名	金額(千ドル)	順位
イスラエル	1,218,090	1
カナダ	482,916	2
英国	335,938	3
オーストラリア	256,191	4
南アフリカ	227,732	5
ノルウェー	219,629	6
フランス	183,634	7
ドイツ	158,161	8
スイス	114,677	9
オランダ	83,733	10
⋮	⋮	⋮
日本	14,027	32

(B) 国防総省

国名	金額(千ドル)	順位
イスラエル	1,191,924	1
ノルウェー	207,154	2
英国	205,847	3
カナダ	190,171	4
オーストラリア	143,884	5
バハマ	59,743	6
フランス	33,935	7
カメルーン	28,492	8
イタリア	25,777	9
ドイツ	25,270	10
⋮	⋮	⋮
日本	13,213	16

¹⁶ 有本建男, 浅野佳那 (2024), SciREX コアコンテンツ 1.5.3 「科学技術外交の近年の動向と今後の課題」



(C)保健福祉省

国名	金額(千ドル)	順位
南アフリカ	225,779	1
カナダ	225,646	2
フランス	131,480	3
英国	105,380	4
オーストラリア	102,242	5
ドイツ	84,627	6
スイス	60,088	7
ウガンダ	56,841	8
タイ	39,689	9
ナイジェリア	37,867	10
⋮	⋮	⋮
日本	711	62

注:

2018～2022年度の合計。

資料:

NSF, “Survey of Federal Funds for Research and Development”を基に、

科学技術・学術政策研究所が集計。

参照:コラム表 1-2

(3)地域別の時系列変化

コラム図表 1-3 に、全体、国防総省、保健福祉省について、海外に支出される研究開発予算を、地域別に時系列で示す。

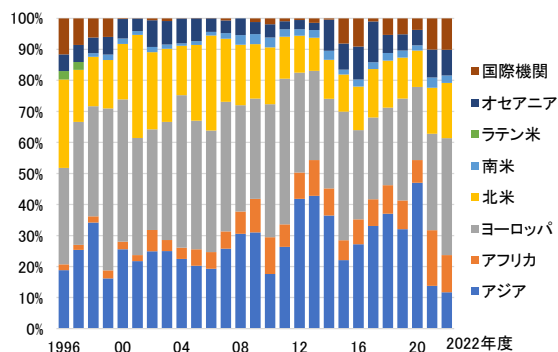
全体(コラム図表 1-3(A))については、過去はヨーロッパ、アジア、北米が上位であったが、近年はアフリカの割合が増加している。

国防総省(コラム図表 1-3(B))は、アジア及びヨーロッパの割合が大きい、時期によっては北米やオセアニアの割合も大きい。

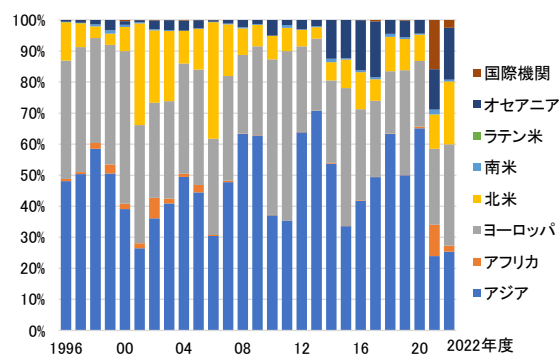
保健福祉省(コラム図表 1-3(C))は、1990年代後半は北米の割合が一番大きく、これにヨーロッパが続いていた。2000年代に入るとアフリカの割合が大きく増加し、それにヨーロッパ、北米が続いている。2022年度はヨーロッパが大きく増加した。

【コラム図表 1-3】 海外に支出される連邦政府の研究開発予算(時系列・地域別)

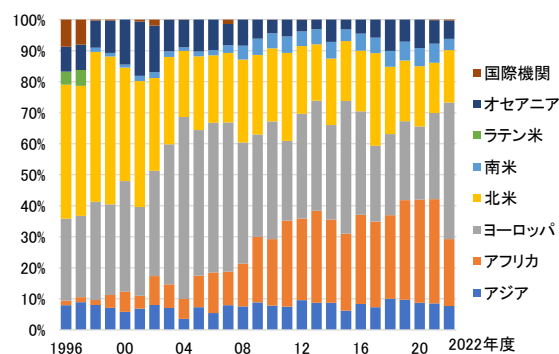
(A)全体



(B)国防総省



(C)保健福祉省



資料:

NSF, “Survey of Federal Funds for Research and Development”を基に、

科学技術・学術政策研究所が集計。

参照:コラム表 1-3

(4)まとめ

本コラムでは、海外に支出される研究開発予算の観点から米国の国際戦略を見た。カナダ、英国、オーストラリア、フランス、ドイツについては、国防総省、保健福祉省のいずれでも上位10か国に入っているのに対して、イスラエル、南アフリカについては、特定の政府機関において上位に位置している。ウェブ上の公開情報等を踏まえると、イスラエルについてはミサイルの開発等、南アフリカについてはHIV感染症の治験等が、アメリカからの支出が多い一因と考えられる。また、長期的に見ると、アフリカの割合が大きく増加していることが確認された。

これらの結果は、米国が科学技術分野によって、協力・支援する国・地域を選択していることを示唆している。

(伊神 正貴、神田 由美子)